



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

令和4年7月9日(土)

道の駅ふたつ「2022 あきた水と緑の森林祭」へ参加 編

2022年7月9日(土)、能代市道の駅ふたつを会場に開催された、県民参加の森づくり活動を推進する「第12回 あきた水と緑の森林祭」よりお声がけいただき、初めて参加いたしました。

当日は「第33回秋田杉の里 ニツ井まつり」も同時開催され、道の駅の駐車場が満車になる勢いの来場者数でした。主に、芸能イベントや地域の特産品販売が行われていました。

本祭典は「県民の環境美化や森林への関心を高める」ことを目的としており、会場では緑の募金活動、木工体験、クラフト教室、林業漫画展、林業機械シミュレーター体験等が行われました。

のしろ白神ネットワークでは、のしろまち灯りイベントに使用している「スギ灯り」「傘スギ」「スギ灯籠」「筒灯り」「木コーン」や、木材活用品である「ウッドチップ舗装」「スギケード」等の展示、日本風景街道やニツ井きみまち地区かわまちづくりのパネル展示を行いました。

足を止めて説明を聞いて下さった方からは「販売品であれば、購入したい」や「自分でも作れるか」など、展示品に関心を持たれた質問や意見が多く、特にウッドチップ舗装に関しては、実際に舗装面を歩いていただいたことから、「家の庭に敷きたい」「地元団体が整備している遊歩道に活用したい」と非常に好評でした。施工依頼を相談されたときには、回答に苦慮しましたが・・・。

恥ずかしながら秋田県出身者にも関わらず、県内でこのような祭典が行われていることを初めて知りました。県産木材加工品PRの場として、意義のあるイベントと感じました。主催者には、県外からもお客さんが集まるような広報戦略を今後、期待します。

文：長崎 勇



この日は晴天に恵まれ、炎天下の中、多数の方が来場されていました。



実際に展示品を見て触れていただき、木材加工品の良さや、のしろ白神の道の活動をPR出来たと思います。